

みすぎ秋まつり

担当：地域振興課
電話：272-8080

目次

| | |
|--------------------------|---|
| みすぎ秋まつり | 1 |
| みすぎ木材まつり | 2 |
| “特集” 太郎生地域づくり協議会の取組み | 3 |
| たろっと三国屋オープン1周年記念イベント | 4 |
| 森林セラピー基地グランドオープン3周年イベント | 4 |
| 森林セラピー実証実験 | 4 |
| 田舎暮らし研修会 | 4 |
| 名松線を守る会除草活動 | 5 |
| 消防秋季実践訓練 | 5 |
| ペタンク大会 | 5 |
| グラウンドゴルフ大会 | |
| 森林セラピー基地ヘルストourリズム実証実験報告 | 6 |
| “投稿記事” 太郎生道里夢から | 6 |
| 美杉子育て支援「すぎっ子」より | 7 |
| 歳末もちつき大作戦 | 7 |
| 美杉人権を考える集い | 7 |
| 伊勢本街道歴史講演会 | 7 |
| 犬のマナーについて | 7 |
| お知らせ | 8 |

11月3日（土・祝）、恒例の「みすぎ秋まつり」が美杉中学校校庭をメイン会場に開催されました。今年は小、中学生に地域活動を知ってもらうため、秋まつりに児童・生徒全員が参加してもらう初めての試みでした。



校庭においては地域づくり協議会による地域活動の発表のほか、津市美杉物産協議会等による物産販売等が行われ、来場された方々はたくさんの買い物袋をさげながら、場内の催しを楽しんでみえました。八知地区活性化協議会による千本づき（餅つき）コーナーでは、ついたお餅が振る舞われることもあり、体験として参加した小学生は慣れないながらも一生懸命お餅をつき、つき上がったお餅を美味しく食べていました。



次代を担う子どもたちに、美杉の特産や活動を知ってもらうことを目的に、こんにゃくづくりや茶もみ体験等に参加してもらいました。参加した中学生にとって、日頃食べなれている食材がどのような過程を経てできるのかを学ぶ良い機会になりました。

また、美杉総合開発センターにおいては、美杉文化協会による芸能発表も行われ、日頃の成果を発表する場として多くの関係者で賑わいました。

【編集の記】

地域のお祭りに小、中学生が全員参加する光景は、さわやかな感動でした。美杉の明日を託すことができる、頼もしい光景でもありました。これからの秋まつりの発展が楽しみです。

朝晩の冷え込みが、随分厳しくなってきました。風邪などご注意ください。

みすぎ秋まつり

今年では来場した誰もが参加し、楽しめることを目的に、三重大学ジャグリングサークルによるジャグリング教室や、津工業高校機械科による電気機関車の運転なども行われました。



当日は少し肌寒い天気ではありましたが、例年以上の来場者に訪れていただき、秋まつり恒例の大鍋で煮込んだ仕掛鍋もあつと言う間に完売となってしまいました。

また秋まつり当日を含め、11月1日（木）から4日（日）まで、美杉総合開発センターや美杉中学校体育館等において公民館講座受講生や自主講座団体等による作品展示も行われ、数多くの作品が出品されました。



第39回 美杉木材まつり（優良木材展示会）

10月25日（木）、美杉木材市場において、第39回美杉木材まつりが開催されました。林業を取り巻く現状は大変厳しいものではあります。美杉地域は林業が主な産業でありますので、「三重の木・美杉の木、国産材の復権をめざして」をテーマに開催されました。

当日は、美杉の山々から切り出された 杉・檜 8,885本 約1,130^mの木材の出荷があり、優良木材には津市長賞をはじめ各賞が贈られ、朝早くから威勢の良いセリの声が響きました。



〔優良木材出品者表彰者〕

| | |
|--------------------|---------|
| 津市長賞 | 辻村 征信 |
| 津市議会議長賞 | 有限会社 森守 |
| 近畿中国森林管理局三重森林管理署長賞 | |
| | 齋藤 秀樹 |
| 中勢森林組合長賞 | 山田 木材 |
| 津市商工会長賞 | 中勢森林組合 |

| | |
|--------------|-------|
| 美杉木材協同組合理事長賞 | 浅尾 和司 |
| 美杉木材協同組合理事長賞 | 山中 俊夫 |
| 美杉木材協同組合理事長賞 | 田上 末博 |
| 美杉木材市場社長賞 | 奥田 秀猛 |
| 美杉木材市場社長賞 | 大花 修 |
| | (敬称略) |

シリーズ「美杉地域協議会の取組み」⑥

太郎生地域づくり協議会の取組み

シリーズ第6弾は、「太郎生地域づくり協議会」をご紹介します。当協議会については、昨年の12月号で、「たろっと三国屋」のオープンを記念した特集でもご紹介しましたので、その後の活動を中心に会長の水井達雄さんにお話を伺いました。

インターンシップの受け入れ 当協議会は、「みすぎ秋まつり」や太郎生地域の様々なイベントに参加するとともに、道路に沿って花を植えるなどの環境美化に努めたり、森林セラピーロードに名所案内の看板を設置したりするなど、様々な活動に取り組んできました。

中でも特筆すべきものが、名古屋産業大学のインターンシップの受け入れです。インターンシップとは、もともとは学生を就職前に企業で受け入れ、実体験をさせようというものです。当協議会は、地域の団体が学生を受け入れることにより、太郎生から若者への情報発信にもなり、地域の活性化にもつながるのではないかと考えたのです。

今年は3つのチームを受け入れました。熱心な学生たちばかりで、地域の情報発信についても随分いい知恵を出してくれたのだそうです。「来年度以降も学生たちに目線の違った意見をもらい、地域の活性化に役立てたい」と、意欲満々の様子でした。

たろっと三国屋の1年 昨年の10月23日、三国屋のオープニング式典が、現地で盛大に開催されました。あれから1年。三国屋は、着実な歩みを進めています。

年度初めに立てた売上げ目標にまでは至っていま



3月に開催されたイベント「まるごと美杉」

せんが、宿泊も食事も、利用者はあと一步のところまでできているそうです。老人会の運動会や総会時の弁当を受注できるほどの受け入れ態勢もできました。

1年前の取材では、常駐会員が1人で、予約限定の受入れでしたが、現在は、会員2人が常駐し、利用者の数に応じた応援態勢をとっています。食事については、メニューの数も増えてきて、飛び入り客でもできるだけ受け入れるようにしているとのことでした。店頭には並べられる土産物も次第に種類が増えてきており、販売用の野菜も、少しずつではあるけれども数が増え続けているのだそうです。手作りの土産物も野菜も、会員の枠にはこだわらず、広く地域の方々から提供していただいているとのことでした。



活性化への意欲 利用客の受け入れ態勢は、ほぼ整いました。次の課題は、利用客をどのように増やしていくかにあります。今、協議会では、桜見物、山菜とり、ホテル観賞や農業体験など、季節に応じた月1回のイベントを開催し、宿泊客の増に結び付けたいと話し合いを重ねているのだそうです。

「目標だった地域の活性化は、徐々にではあるが実現しつつある。これを更に広げていくのが今後の課題。会員みんなに『地域活性化』への自信は出てきたようなので、市からの財政的支援が切れる来年度中には、自立していける体制をつくりあげていきたい」と、水井会長も意気込んでおられます。

「『みんなが経営者で、みんなが従業員』という気持ちで会員の絆を強め、協議会を前へ前へと押し進めていこう」会長のことばにも、自信がみなぎっていました。

たろっと三国屋オープン1周年記念イベント

10月21日（日）、太郎生地域づくり協議会の活動拠点施設の「たろっと三国屋」がオープニング1周年記念事業としてウォーキングイベントを実施しました。

当日は、好天に恵まれ「池の平コース」と「日神コース」の2つのコースを55人の参加者がウォーキングしました。

参加者は、日頃街なかでは味わうことのできない新鮮な空気と静粛な環境に感動されていました。

ウォーキングの後はたろっと三国屋に戻り、温かい味噌汁でお弁当をいただきました。



津市森林セラピー基地グランドオープン3周年記念事業

ノルディックウォーキングin平倉コース

10月20日（土）、グランドオープンから3年が経過したこの日、3周年を記念したウォークイベントを実施したところ、100人の参加者全員が、絶好の秋晴れの中、平倉コース（美杉町川上地内）で、ノルディックウォーキングを満喫し、完歩しました。

ノルディックウォーキングのスペシャリスト畑頭治さんは、参加者一人ひとりのウォーキング指導や、「健康・体力づくり」についての講演と大忙しでした。参加された方のほとんど全員が、「これを機に、美杉でノルディックウォーキングしたいですか？」との問いに対して、「したい」と答え、参加者の今後の健康づくりの“きっかけ”となりました。



爽快地歩く参加者

足取り軽く完歩！

講師の講演を熱心に聴く参加者

三重大学医学部看護学科連携

「こころとからだの健康増進実証実験事業」（第2回、第3回）

三重大学医学部看護学科と連携し、森林セラピー基地における医学的な根拠を高め、健康増進基地としての活用を促進しようと調査研究を進める実証実験が、10月14日（日）には第2回を日神西浦コース、11月11日（日）には第3回を君ヶ野ダム湖畔コースで、それぞれ同大学付属病院へ勤務する看護師の参加協力の下、実施されました。

参加した看護師は、日頃の激務の疲れを癒やしながら、データ取得のための実験に協力されました。12月に第4回の実証実験が行われ、このデータ解析に基づいた結果が同大学医学部から報告されます。



田舎暮らし研修会

10月14日（日）、平成24年度第1回田舎暮らし職業研修会が開催されました。

この研修は、田舎暮らしを希望する方が、移住後、農業などで生計を立てるため、少しでも知識を身につけ、スムーズに田舎暮らしができるよう研修を行う目的で開催されました。今年度は3回開催される予定で、第1回目は、講師に田舎暮らしアドバイザーの浅尾みどりさんによる「農産物加工品コース」について講義と実践研修が行われました。当日の参加者は10人で、熱心に研修を受講しました。



名松線を守る会除草活動

10月24日（水）、JR東海関係者の立会いのもと、名松線を守る会（前川知雄 会長）によるJR名松線伊勢八知駅周辺の除草活動が実施されました。



当日は、役員をはじめ有志の方々28人が参加され、伊勢八知駅の前後約450m間の軌道周辺をきれいにしていただきました。



美杉方面団秋季実践訓練

10月28日（日）、津市フットパーク美杉周辺において美杉方面団秋季実践訓練が行われました。空気が乾燥し、火事が発生しやすい季節をむかえるにあたり、水利の少ない場所においていかに消火活動を行うかを目的とした中継送水訓練になりました。

中継送水とはポンプ自動車からポンプ自動車、あるいは可搬ポンプからポンプ自動車へといったように延ばしたホースの間に機械を挟み、送水する圧力を少しでも多く保つために行われる消火活動の方法で、水利の少ない場所では非常に有効な消火方法ですが、反面機械器具操作を誤るとポンプ自体を壊してしまう恐れもあります。参加した団員は計器を確かめつつ、慎重に訓練に取り組んでいました。

ペタンク大会

10月25日（木）、フットパーク美杉にて、美杉老連第21回ペタンク大会が開催されました。

さわやかな秋空の下、3人一組のチーム戦で白熱した戦いが繰り広げられました。

参加者の皆さんは、日頃の練習の成果を存分に発揮され、気持ちのよい汗をかかれています。中には全国大会出場経験のある選手もみえ、ハイレベルな試合が多い印象でした。



グラウンドゴルフ大会

11月8日（木）、フットパーク美杉にて、美杉老連第4回グラウンドゴルフ大会が開催されました。

年々人気上がり、競技者も増えているグラウンドゴルフ。

今年も174人の出場者が集まり、大盛況の中で真剣勝負を楽しまれました。

ホールインワン達成者も多数みえ、競技レベルの向上が感じられる大会となりました。



『美杉いなかあそび学校プロジェクト』

～ 森林セラピー基地における「子ども」自然教育実証実験 ～

【滞在期間8月1日～14日】

美杉いなかあそび学校
プロジェクトの狙いは？

人工的な環境下での生活が中心の現代社会では、多種多様な“ストレス”が蔓延しており、大きな社会問題になっています。このことは、大人社会だけでなく、「子ども社会」にもその影を落とし、抱えきれなくなったストレスの発散方法が、時に思いもよらぬ結果を生み出す、そういったニュースが年々増加しているように感じます。

受験勉強、塾などの学習優先の生活リズムが『運動能力』の低下を招き、「子ども同士の間関係やルール」を育む「あそび」の時間が減少し『協調性や限度・加減』などを学ぶ機会も減っています。このような危機的な状態を打開するため、“子ども”のストレス緩和・仲間づくりの方法や大切さなどを学ぶ場としたと思います。

津市森林セラピー基地運営協議会
美杉リゾート観光株式会社

“癒し”と“体力づくり”メニュー <実施場所：スカイランドおおほら>



ノルディックウォーキング

セラピーロードウォークにより、自然に触れ、豊かな自然環境の中でゆったりとした時間を過ごしたことで「リラックスできた」と“子どもたち”から感想を得ました。親の目から見たことも達は、「すごく楽しそう」「自然に親しみながら体力づくりもできるのは良い」と高評価を得ることができました。

“野草摘み学習”と“食”への感謝育成”メニュー
<実施場所：野草摘み学習（美杉リゾート周辺）農業体験（服部農園）>

学校の教科書には出てこない、野草の効能や、食べられる野草などについて、講師（坂本幸さん）からの説明を終始熱心に聞き、天ぷらなどの調理にも積極的にチャレンジし、出来上がった料理を美味しく食べていました。

農業体験においても、積極性を発揮し、プロジェクト開始から1週間経過したこの頃には、子ども同士が手を取り合って共同作業を始めたり、一緒に駆け回る姿も見られるようになってきました。普段意識せずに食べている野菜などに対して、収穫にいたるまでの生産者の様々な努力や苦勞を見聞きし、「大切に食べないといけない」と思うようになったと率直な感想も聞きました。

“林業体験”と“アウトドア体験”メニュー<実施場所：三浦林商>



檜の皮むき体験や、川遊びや魚つかみ体験などを通して、自然の中で遊ぶ楽しさ、危険性や役割分担での行動の意味などを学び、積極的に自然と関わっていました。親の目からも、「普段見せない集中力が出ている」「これまでは挑戦しないことも取組んでいた」など高評価をえました。

<プロジェクトを終えて>

参加した“子ども”全員が、同年代の子どもたちや、美杉の自然との関りの中で、自分らしさを見出し、仲間との絆を築いていった。そのことはまさしく成長の証であり、今後の人生に役立つ貴重な経験となったものと確信しています。

今回の取組みには、福島県の震災被災地の子どもたち15人と保護者11人が、参加いただきました。

被災地の一日も早い復興と子どもたちに本当の笑顔が戻ることをお祈り申し上げます。

“投稿記事”

太郎生道里夢より

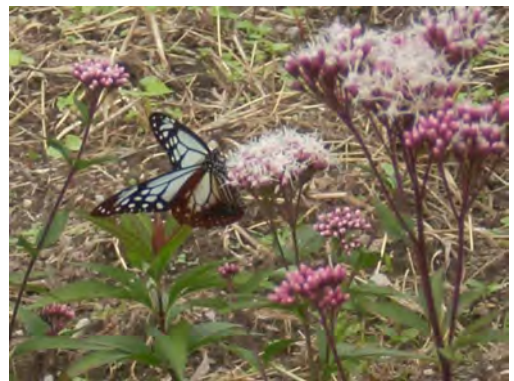
太郎生地区の地域おこしボランティアグループ、太郎生道里夢（ドリーム）では、地域おこしの一環としての活動で「アサギマダラの飛んでくる村」としての活動を行っており、今年見事にアサギマダラが飛来しました。

会員はアサギマダラが好むフジバカマを3年前に株分けをして育て、今年の春に持ち寄り、休耕畑300㎡に株を植えることでみごとにピンクの花を咲かせ、10月にはみごと念願のアサギマダラが飛来しました。

フジバカマは秋の七草のひとつで、古今和歌集で紀貫之が「やどりせし 人のかたみかふじばかま わすれられがたき 春ににほいつつ」と詠んでいるように匂いの強い花で、同会では今後、花を乾燥させてにおい袋などの新商品なども考えています。

アサギマダラはあまり羽ばたかず優雅にふわふわと飛び渡り鳥のように越冬のため日本から中国や台湾にまで渡る非常に珍しい蝶で、「フジバカマの栽培が広がればさらに多くのアサギマダラが飛来し、地域おこしにつながる」のではと会員の期待も膨らみます。

同会では今年の5月から、地域の交流の場、体験の場として毎月第4日曜日に丸八酒店駐車場で太郎生の良さを知っていただく朝市を開催していますので、ぜひお立ち寄りいただければと思っています。



美杉子育て支援「すぎっ子」より

10月26日（金）、第3回食育講座「食事のマナーは何歳から～」を開催しました。未就園児の親子を対象に給食試食会を行い、6組12人の参加がありました。食事をしながら、調理方法を質問したり、小さい頃からの食事マナーについてなど、話をしながら楽しい時間を過ごしました。

12月はクリスマスコンサートがあります。地域の方も時間があれば、ぜひ生演奏を聴きにきてくださいね。



★クリスマスコンサート★

とき 12月7日（金）午前10時30分～
ところ 八知保育園 すぎっ子ルーム



▲第3回食育講座の様子

歳末もちつき大作戦2012

12月23日高齢者の方がおみえになる世帯へつきたてのおもちをお届けします。

あったか正月を実現する会では、皆が「あったか正月」を迎えることができるよう、恒例の歳末もちつき大作戦を実施します。美杉地域の80歳以上（平成24年12月31日現在）の人がおみえになる世帯へおもちをお届けします。

日時 12月23日（日・祝）午前9時30分

会場 美杉高齢者生活福祉センター

問い合わせ 美杉地区社協 ☎274-0022

昨年の様子



美杉人権を考える集い

日時：平成24年12月9日（日）

午後1時30分～

場所：美杉総合開発センター 大集会場

内容：小・中学生による人権作文の発表、
徳島県同和対象地区青少年連絡協議会
「止揚の会」事務局の大湾昇さんによる講演 ～出会いと表現～

伊勢本街道歴史講演会

演 題 ～中世都市・多気～

「伊勢国司北畠氏と、その時代」

講 師 北畠神社宮司 宮崎 洋史 氏

日 時 平成24年12月7日（金）

午後7時30分～

場 所 伊勢地地域住民センター

参加費無料・事前申し込み不要 多数ご参加ください。

問い合わせ 伊勢本街道を活かした地域づくり協議会

☎・FAX 212-0174

犬を飼っている皆さんへ～愛情を持って、飼いましょう～

●ふんを放置しないでください。

道路や公園などみんなが利用するところや、他人の土地を犬のふんで汚さないようにしてください。ふんを持ち帰る袋などは必ず持参しましょう。

●犬の放し飼いはやめましょう

散歩の時にも、必ずリード（引き綱）をつけてください。

●飼い犬には、鑑札・名札をつけましょう。

●狂犬病予防注射は毎年必ず受けてください。

問い合わせ：美杉総合支所地域振興課産業振興環境担当

☎272-8088

健康相談

下之川地域住民センターで健康相談を実施しています。
 血圧測定や尿検査等を無料で実施しています。是非ご利用ください。

自分の健康は自分で守り、いきいき人生をたのしみましょう。

| 月 | 日 | 時間 | 健康相談 | 健康相談員 |
|-----|-------|---------|------|-------|
| 12月 | 3(月) | 13:30 ~ | ○ | 田中医師 |
| | 10(月) | 16:30 | ○ | 田中医師 |
| | 18(火) | 9:30 ~ | ○ | 河野保健師 |
| | 25(火) | 12:30 | ○ | 本郷保健師 |

問い合わせ：☎276-0333（相談時のみ）

☎272-8084（相談日時以外）美杉総合支所市民福祉課につながります。

高額療養費制度**市民福祉課**

高額な医療費がかかったら・・・

加入している公的医療保険（国民健康保険、後期高齢者医療、社会保険など）には高額療養費という給付制度があります。この制度は、医療費の自己負担額の合計が一定の金額を超えたら超えた分を申請により支給したり、事前に限度額適用認定証の交付を受け病院の窓口で提示することで医療費の自己負担額の窓口負担が軽減されたりするものです。

医療費が高額かかった場合、加入されている医療保険にご相談ください。

問い合わせ先 国民健康保険 ⇒ 保険年金課 ☎229-3160 市民福祉課 ☎272-8084

後期高齢者医療制度 ⇒ 医療助成室 ☎229-3285 市民福祉課 ☎272-8084

※ その他社会保険等に加入されている方は、それぞれの加入保険窓口へお尋ねください。

健康教室**三重県立一志病院**

入場無料です

第2回 「孫育て ひまご育て」～パパ・ママの子育てサポーターになろう～

講師 矢部千鶴（一志病院医師）

日時 12月11日（火）午後1時から午後2時

場所 一志病院 管理棟2階会議室

申し込み 参加ご希望の方は、事前に予約が必要ですので、電話、FAX、電子メールのいずれかによりお申し込みください。（当日参加も可能です）

申し込み・問合せ先 三重県立一志病院 外来

津市白山町南家城616

☎262-0600（内線110） FAX262-3264 電子メールihos@pref.mie.jp

～森もり元気になろうに！美杉～ からのお知らせ

11月3日「みすぎ秋まつり」に参加し、昨年好評だったスクエア・ステップを今年も行いました。スクエア・ステップは、25cm×25cmのマス目があるマットの上を指定した順にステップ（移動）していく運動で、転倒予防や脳の活性化に効果があるといわれています。子どもたちは軽快にステップを楽しみ、大人は難易度の高いステップに挑戦して、足の運びに迷ったり笑ったりしながら脳年齢を試すなど、たくさんの人に体験してもらい、楽しんでもらうことができました。

今後はスクエア・ステップを体験してもらえる場をもっと増やしていきますので、みなさんぜひご参加ください！



※森もり元気になろうに！美杉は「津市健康づくり推進連絡協議会美杉支部」として平成23年4月に発足しました。みなさんと一緒に健康づくりを考えていく団体です。

【電話番号】

地域振興課 059(272)8080・8082・8085

市民福祉課 059(272)8083・8084

行政相談・人権相談

日時：12月6日（木）午後1時30分～

場所：グリーンハウス美杉（津市美杉町八知）